

ITC-CSCC 2021 (The 36th International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications) 参加報告書

群馬大学 理工学府 電子情報・数理教育プログラム
小林研究室 修士2年 山本颯馬

1. 概要

開催期間：2021年6月28日(月)～6月30日(水)

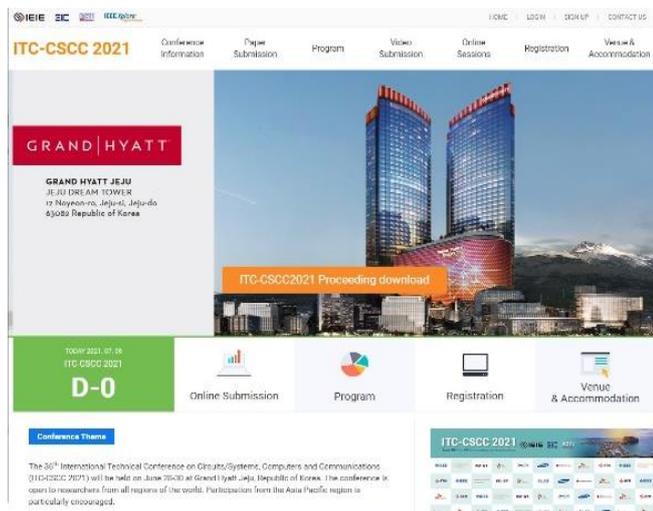
開催場所：韓国 済州市 グランド ハイアット チェジュ

2. 発表の方法

ITC-CSCC は、世界中の研究者が回路/システム、コンピュータ、通信分野についての発表や議論をする場として、1年に一度開催されている。

韓国の済州市で行われた ITC-CSCC 2021 は、新型コロナウイルスの影響で参加が難しい海外の参加者を考慮して、昨年に引き続きオンラインでも参加が可能であった。

6月28日(月)	オンラインのみ
6月29日(火)	オンライン&現地
6月30日(水)	(ハイブリッド)



ITC-CSCC 2021 ホームページ

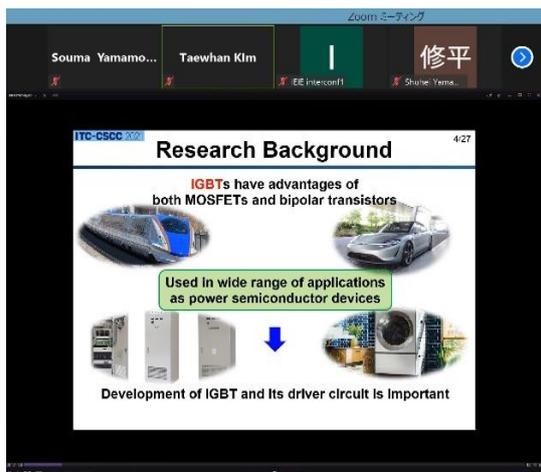


6月28日(月) オンライン会場(Zoom)

今学会の発表者は、事前に ITC-CSCC に送付したプレゼンテーションビデオが Zoom 上で流されるという形式で発表した。ビデオ終了後の Q&A セッションに対応するため、発表者はなるべく自身が発表するセッションルームに事前に入ることが推奨された。

発表形式は、口頭発表とポスター発表の 2 種類があるが、事前に録画したプレゼンテーションビデオは発表者全員が提出することになっている。このビデオは発表後に ITC-CSCC サイト上で開催期間中配信されるため、発表をリアルタイムで見られなかった場合や、もう一度見たい場合でも見ることができる。また、質問は各ビデオに用意されているコメント欄に残すことができる。

3. 感想



自身の発表の様子

私自身、オンラインでの国際学会発表は今回で 3 回目であり、オンライン形式の学会発表の準備にも徐々に慣れてきていると感じた。質疑応答(Q&A セッション)についても、想定される質問に対して準備をしていたが、今回は時間の都合上 Q&A セッションは省略された。

今回発表した IGBT の研究は今年 4 月に研究室先輩の阿部さんから引き継いだばかりであった。そのため研究に関して分からないことが多く、発表資料の作成に苦戦した。しかし、今までとは違う分野を経験することは、自身にとって良い刺激になった。

4. 謝辞

今学会の発表のため論文・プレゼンテーションビデオ作成のご指導を頂いた小林春夫先生、学会参加を支援して頂いた桑名杏奈先生、研究を指導して頂いたサンケン電気の皆さま、研究室先輩の阿部優大さん、ITC-CSCC 2021 の開催を支えてくださった皆さまに深く感謝を申し上げます。



ITC-CSCC 2021 June 28th(Mon) – 30th(Wed)
Grand Hyatt Jeju, Republic of Korea

Study on Current-Driven IGBT Driver Circuit

Yudai Abe, Akio Iwabuchi, Jun-ichi Matsuda,
Souma Yamamoto, Anna Kuwana,
Haoyang Du, Takafumi Kamio, Takashi Hosono,
Haruo Kobayashi

Gunma University
Sanken Electric Co. Ltd

ITC-CSCC 2021 Kobayashi Lab.
Gunma University

発表論文タイトル

ITC-CSCC2021 現地の夜景
(Grand Hyatt, Jeju)
ITC-CSCC 2021 公式サイトより